

2026 年 2 月 1 日(主の日)

司式：長倉基牧師

招詞 詩編 98:1 「新しい歌を主に歌え。まことに主は奇しき業を成し遂げられた。主の右手、聖なる腕が救いをもたらした。」

■礼拝の祈り

天におられますわたしたちの父なる神よ、

＜礼拝の招きへの感謝＞

今朝もこうして礼拝のために集まることができました。あなたが招いてくださったこの礼拝に連なることが許されたことを感謝します。体と心を取り繕うことも十分にできないまま、聖霊の助けによってここに集まりました。あなたのみ前に出るのにふさわしい装いであるかどうか、祈りと賛美をしようという思いで心が満たされているか、こころもたない思いがします。けれども、今ここに主イエスご自身の衣を私どもの衣とし、主イエスという衣を着させていただいて、御前に立たせていただけることを感謝いたします。

＜神の御前で罪の告白と悔い改め＞

けれどももし今、わたしたちの中に落ち着かず騒ぐ心があるなら、また不確かな思いがあるならば、自分自身ではなく主に根差す確かな思いで置き換えてください。自分自身の姿を顧みて悲しまずにはおれない心に、仲間にすら怒りをぶつけたくなる思いに、また人を下に見る思いから逃れられない魂に、どうぞ主の力をもってこれらすべてに打ち勝ち、あなたのみ顔を仰ぎ、あなただけを頼りにする心を与えてくださいますよう、お願いいたします。御子が神の身分であられることを全く省みず、へりくだってわたしたちのために死んでまで仕えてくださった。そのことによって、わたしたちも人に仕える謙遜を知ることができるはずだからです。

人の心が狭いことばかりを責めて、自分の心が一体どれだけ人を受け入れているかを思うことすらなかった日々でした。人の過ちを責めることで自分が正しいことを確かめようとばかりしていました。弱い者のかたわらを通り過ぎ、その人の悩みを自分の悩みとすることができませんでした。どうしてこれがあなたの栄光を表すことになるのか、どうして主イエスの道を見失ってしまったのか、愕然とする思いです。

＜御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて＞

どうか、わたしたちが主の謙遜にならうものとして神と人ともに仕え、そしてこの礼拝に仕えることができますように造り変えてください。神よ、あなたが、もう一度わたしたちに正しい道を示してください。御言葉によってわたしたちを主イエス・キリストの道に導いてください。若い者も、年老いた者も、それぞれに与えられた賜物にふさわしく、あなたの栄光を表す道があることを悟らせてください。この礼拝において主がともにいてくださり、わたしたちに語ってくださる御言葉を、命の水として飲ませてください。光の中を歩ませてください。

主イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン。

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<新しい月の歩みも守り導いてください>

2月の歩みを始めます。この月もあなたが御言葉によってわたしたちの信仰、生活をたてくださいますように。わたしたちが祈りにおいてあなたにすべてを委ねる歩みができますように導いてください。

<全体集会感謝。道を示してください>

先週は全体集会を行いました。長老会で祈り求めた次年度の歩みを共有しました。主イエスの福音をますますあらわす教会でありたいと願います。そのために御言葉を求めています。主イエスを求めています。どうか御言葉の礼拝を全生活の中心とし、そこから生み出される交わりに生きる幸いをますます豊かにしてください。この交わりに、多くの人、大切な人が加わってくれることを喜びとして歩みます。

わたしたちは知恵も足りず、先を見通す能力もありますが、主の教会としての歩みを続けたいと願っています。福音をこの藤沢北の地域に宣べ伝えるあなたからの務めを果たしたいと思っています。どうか、聖霊がわたしたちを導いてくださいますように。

<困難の中にある人を助け、癒し、救ってください>

今、心や体に重荷を負っている人がいます。どうか助けてください。医療や介護はあたえられていますが、それでもまことの癒やし、救いが必要です。今日聞いた御言葉を届けることができますようにわたしたちをあなたの御用のために用いてください。

<祈りがゆたかになるように導いてください>

新しい一週間を歩みだします。この週も祈りのうちに過ごしたいと願います。どうか祈りがゆたかになりますように導いてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。